PFV、ファミリービジネス賞の最終候補5社を発表 賞金は10万ユーロ

2027年の最終候補には、1339年創業の鐘鋳造所、フランスのジュエリーメゾン、スペイン、イタリア、ポーランドの職人工房が名を連ねた

2026年11月18日（水）



欧州と南北アメリカのワイン生産者12家族からなる団体Primum Familiae Vini（PFV）は11月16日（月）、独立系ファミリービジネスを対象とする賞金10万ユーロの「PFV賞2027」の最終候補5社を選出したと発表した。いずれも、長い職人技の伝統を持つ企業だ。

最終候補はイタリア、フランス、スペイン、ポーランドの企業で、鐘の鋳造やハイジュエリーから、陶器、装飾芸術、木製玩具の製造まで、幅広い分野で事業を展開している。受賞者は2027年初頭に発表される予定だ。

PFVによると、この賞は、優れた職人技を世代を超えて受け継ぎながら、革新と長期的な視点を併せ持つ同族経営企業を評価するために創設された。2020年に設立され、2年に一度授与されている。

今年の最終候補は、イタリアのPontificia Fonderia di Campane Marinelli、フランスのMellerio、スペインのTinajas Moreno León、イタリアのBianco Bianchi、ポーランドのWooden Storyだ。

5社のうち最も歴史が古いのは、イタリアのモリーゼ州アニョーネにある鐘鋳造所、Pontificia Fonderia di Campane Marinelliだ。創業は1339年にさかのぼる。PFVによると、同社は27世代にわたり同じ家族が経営し、現在も伝統的なロストワックス鋳造法、中世以来の技法、長年使われてきた原材料を用いている。イタリアで現在も操業するファミリービジネスとして、最も古い企業の一つと広く認められている。PFVによると、近年の受注には、2025年の聖年の公式鐘、2026年ミラノ・コルティナ冬季オリンピックの鐘、ニューヨーク市消防博物館の記念鐘がある。

1613年創業のMellerioはフランスのハイジュエリーメゾンで、PFVは、現在も独立した家族経営を続ける世界最古のジュエリーメゾンと説明している。同じ家族が14世代にわたり経営してきた。パリの9 Rue de la Paixに本拠を置くMellerioは、Place Vendôme近くに最初に店を構えた宝飾店であり、何世紀にもわたって王室や皇室の顧客を抱えてきたという。

スペインのTinajas Moreno Leónは、1783年の日付が記された粘土製の壺を家族の工房で製作した記録が残っており、その歴史を同年までさかのぼる。PFVによると、現在は10代目にあたり、大型の粘土製容器を手作業で作り続けている。こうした容器は長年、ワイン、オリーブオイル、水、穀物、パン、オリーブ、塩漬け肉の貯蔵や製造に使われてきた。同団体によると、家族は先祖が使っていたのと同じ採掘場から今も粘土を採取しながら、現代市場に合わせて製品を改良している。

イタリアから選ばれたもう一社、Bianco Bianchiは、1953年創業の3世代にわたる工房で、イタリアに起源を持つ装飾漆喰技法「スカリオーラ」を専門とする。PFVによると、工房は創業者Bianco Bianchiが1940年代後半に始めた長年の研究を基盤としている。同氏は、消滅の危機にあった技法を復興させるため、歴史的な配合や象嵌技法を10年以上にわたって研究した。現在は、子どものAlessandroとElisabetta、孫のLeonardoが事業を受け継いでいる。建築家やインテリアデザイナーと協力し、特注のテーブルやパネルなどの装飾品を手がける。

5社目の最終候補であるWooden Storyは、ベスキド山地で1969年に創業した、木製玩具や家庭用品を製造するポーランドのファミリー企業だ。PFVによると、Władysław Borowyが始めた小さな木工所から成長し、現在は50カ国以上で販売する国際ブランドとなった。同団体によると、現在は3代目が経営を担い、4代目もすでに事業に加わっている。

PFV会長のAlessia Antinoriは声明で、最終候補5社は職人技の質だけでなく、家族の遺産を次の世代へと受け継ぐ力でも際立っていると述べた。また、各社の歩みは、ファミリービジネスを支援し、この経営モデルを将来にわたって守ることの重要性を示していると語った。

ワイン生産者の家族がワイン業界以外の企業に贈るという点で、この賞は異例だ。PFVによると、独立性、継続性、ノウハウの継承を重視する同団体と理念を共有する世界各地の企業を支援することが目的だ。賞金の10万ユーロは、受賞企業の発展と、職人技や事業を次世代に引き継ぐ取り組みを支えるために充てられる。

過去の受賞企業は、2021年がベルギーのMaison Bernard、2023年がフランスのBrun de Vian-Tiran、2025年が日本のTsutsumi Asakichi Urushiだった。

PFVは1992年に設立され、世界を代表するワイン生産者一族による招待制の団体と自らを位置づけ

ている。加盟メンバーには、Marchesi Antinori、Baron Philippe de Rothschild、Joseph Drouhin、Domaine Clarence Dillon、Egon Müller Scharzhof、Famille Hugel、Champagne Pol Roger、Famille Perrin、Symington Family Estates、Tenuta San Guido、Familia Torres、TEMPOS Vega Siciliaが名を連ねる。